

## 大腿骨骨折患者の調査研究のお知らせ

東川口病院では、日本歯科大学附属病院より勤務している非常勤歯科医師と共同で以下の研究を行います。

### [研究課題]

整形外科入院の高齢患者に対する歯科参加型チーム医療システムの開発と効果の検証  
(2019年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 課題番号 19K19337)

### [研究目的]

大腿骨骨折が原因の入院患者における術後合併症として肺炎が最も多いという報告があります。実際に当院の整形外科に入院している高齢患者の周術期・回復期における誤嚥性肺炎の併発を目の当たりにすることは多くあります。これには、大腿骨骨折患者の年齢層が高齢で摂食嚥下機能や口腔機能の問題が潜在的に存在している可能性に加え、術直後に姿勢の制限を伴う食事摂取が強いられることも原因と考えられます。術後の誤嚥性肺炎の併発は入院期間を延長し、その後の低栄養やADL、QOLの低下、家族・介護者の負担増加につながりかねない問題です。そこで本研究では、整形外科入院の高齢患者の摂食嚥下機能ならびに口腔機能の実態把握を行い、歯科を含めたチーム医療システムを確立し、誤嚥性肺炎の併発や栄養状態の悪化、ADLやQOLの低下といった有害事象の抑制に有効な介入頻度・内容について検証することとしました。

### [研究意義]

歯科のない病院において、歯科を含めたチーム医療で整形外科入院の高齢患者の診療に当たり、有効な歯科職種の間与頻度や内容について明らかにすることで、入院中の有害事象の発生や退院後の生活状況の悪化を防ぐことが期待されます。

### [対象・研究方法]

大腿骨骨折にて入院加療を受ける高齢患者に対し、各種口腔機能検査ならびに嚥下機能評価の実施、アンケートの回答依頼を行います。また、診療録データからの一部基礎データの抽出を含みます。

### [研究期間]

2019年4月1日～2023年3月31日(予定)

### [研究機関名]

東川口病院 整形外科、日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科

[倫理的配慮]

本研究は倫理委員会の審査を経て承認され、関連の研究倫理指針に従って実施されます。  
(日本歯科大学生命歯学部倫理審査委員会 承認番号 NDU-T2019-03)

[個人情報の取り扱い]

研究結果は研究機関ホームページ、学術大会や医学論文として発表する予定ですが、個人が識別できる方法での公表はせず、プライバシーの保護に十分配慮いたします。

対象となる方で、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合、ご自身の検査結果など研究への使用をご承諾いただけない場合、もしくは研究参加への同意を取り下げたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先

主任研究者：日本歯科大学 附属病院 口腔リハビリテーション科

歯科医師 鰐原 賀子（えびはらかつこ）

住所：東京都千代田区富士見 2-3-16

電話：03-3261-5511(代表)

分担研究者：東川口病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 瀬木谷彰仁